



八中だより



第23号
令和8年3月25日
府中市立
府中第八中学校



〈在籍生徒数〉 一学年249名、二学年218名、三学年245名
 全校生徒数712名
 〈学校住所・電話番号〉
 府中市四谷一丁目二八二七
 電話 〇四二(三六四)一八八一
 ★卒業生の皆さんから卒業式の辞が感動的だったという感想が届きました。ありがとうございました！

『不安が意欲に変わるとき』(修了式の話の一部)

校長 高汐 康浩

私は、あるSNSの『👍』マークをとても気に入っています。その投稿に共感したり、感動したりしたときに「いいね」というメッセージを表すものです。下のスタンプは、以前、小学校の校長をしていた頃に、いいねマークを模して作ったものです。その小学校の児童たちが連絡ノートや教科のノートなどの「プラス思考の発言」を書いた際には、このスタンプを押していました。児童たちが、「どんな発言をすれば『いいね』をもらえるか」など、仲間どうしで情報を交換していたことを思い出します。



ところで、皆さんが不安に感じるときはどのようなときでしょうか。新年度を迎え、これまで通りに楽しく学校生活を送れるだろうか？進路実現に向けた取組を順調にできるだろうか？友だちとの関係がよくなってしまったり以前のような関係をもどせるだろうか？などなど…私自身のことを振り返ると、中学生時代には、自分とは何なんだろうか？生きる意味って何だ？これからどう生きていくのか？など、とても難しい問題について自問自答しながら揺れていたことを思い出します。

では、大人の今の私に不安はないかということについてお話しします。実は一杯あります。もしかすると中学生の頃よりもたくさん不安を抱えているかもしれません。ある会議のことをお話しします。そのときは、提案された案件に対して意見を述べようと考えていました。でも、そのことについて、私自身は詳しくないし深く考えたことがなかったので、私の発言は的外れではないだろうか、などと不安がありました。でも、自分の発言はきつと役に立つだろうと考え勇気

をもって発言をしました。ところが、周りの反応は全くありませんでした。しばらく沈黙が続いたところで、ある会議の参加者が私の意見に賛同してくれました。その時点で私の不安は一瞬のうちに安心、そして、意欲に変化したのです。これまでの経験からいえることは、「不安は外部からのほたらきかけで安心に変化する」、「不安の裏には意欲が隠れている」ということです。思春期という不安定な時期の中学生の皆さんにもたくさん不安があると思います。そんなときは、ぜひ、考えや思いを発信してみましよう。そうすれば、だれかが「いいね」と言ってくれたり、修正意見を言ってくれたりするはずですよ。その後には、不安は意欲へと変化をしていきます。私たち大人は、子供たちの考えなどをしっかりと受けとめ、「いいね」や「こうした方がもっといいんじゃない？」というメッセージを伝え、子供たちのやる気、意欲を高めていくことが大切だと思っています。

『本年度も教育活動へのご協力、ご支援いただき、ありがとうございました』

「昼休み中、八中を訪れたときに、生徒の皆さんが、「どうぞ」と言ってお辞儀をしてくれました。八中生のあたたかさに触れ感動しました。私も見習わなければと思いました。」

「八中の生徒の皆さんの表現力に感動しました。合唱を聞いて涙が止まりませんでした。」

「(標準服の業者から)今まで多くの学校にお邪魔しましたが、生徒が作成したデザイン企画書をいただいたのは初めてでした。生徒皆さんのデザイン力、企画力に驚かされました。ぜひ、弊社に就職してほしいと思います。」

今年度も、来校される多くの方々や地域の方々からたくさんのお言葉をいただきました。ありがとうございました！

生徒がいそいそと、前向きに取り組めたのは、保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様の多大なご協力やご支援があったからこそだと思っています。来年度もますますのステップアップを目指していきたいと思っています。

これまで同様、皆様としっかりと連携しながら活動を行ってまいります。引き続きよろしくお願いたします。



第52回卒業式

盛大に祝福!



『送ることは』

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうござい
ます。少しずつ春の気配を感じるこの日、三
年生の皆さんが卒業の日を迎えられたこと
を、在校生一同、心からお祝いをいたします。
先輩方と過ごした日々を振り返ると、たく
さんの思い出がよみがえります。日々の学校
生活の中で、私たちは常に先輩方の背中を見
ながら、多くのことを学んできました。委員
会活動では、いつも先頭に立って、私たちをま
とめ、学校全体を引っ張ってくださいました。
行事の準備や話し合いが思うように進ま
ないときも、先輩方は最後まで責任を持ち、
私たちに丁寧に声をかけてくださいました。
その姿から、一人一人の行動が、学校を支え
ているのだということ、実感することができ
ました。

生徒会活動では、スライド作りをはじめ、
企画の立て方や、話し合いの進め方など、多
くのことを教えていただきました。分からな
いことばかりだった私に、先輩方は一つ一つ
丁寧に教えてくださいました。その真剣に取
り組む姿に憧れ、私も生徒会長を目指そう
と思うようになりました。

また、去年の合唱コンクールでの先輩方の
歌声は、今でも強く心に残っています。ホー
ルいっぱい響く美しいハーモニーは一人一人
の思いが重なった結果であり、仲間と協力す
ることの大切さを、改めて教えてくれまし
た。

部活動でも、先輩方は私たちの憧れでし
た。バスケットボール部には、小学生のミニバ
スの頃からお世話になった先輩も多くいま
す。コートの中では、プレーだけでなく、声か
けや姿勢でもチームを支え、私たちを導い
てくださいました。私は、膝のけがで思うよう
にバスケットボールができない時期がありま
した。不安や悔しさを感じる中でも、部活動
の先輩方は、変わらずそばにいて、いつもやさ
しく声をかけ、励まし続けてくださいまし
た。その支えがあったからこそ、前向きな気
持ちで練習に向かうことができました。

先輩方が卒業してしまふことを思うと、寂
しい気持ちでいっぱいです。しかし、先輩方が
築いてくださった伝統や思いは、これからも
この学校に残り続けます。私たちが在校生は、
その思いをしっかり受け継ぎ、さらに良い
学校をつくっていきます。

卒業生の皆さんが、それぞれの新しい道
で自分らしく輝いていけることを、心か
ら願っています。本当にありがとうございます。

在校生代表 和田 裕樹

『別れのことば』

春。慣れない衣服に身を包み、私達は入学した。期待と緊張で胸がいっぱいだった。ここから私たちの毎日が始まった。そんな緊張が楽しさに変わった行事。ふれあい自然教室。夜のキャンプファイヤー。みんなの笑顔が絶えず、最高の時間だった。しかし、二日目は、あいにくの大雨。それでも、体育館で熱中した綱引き。声を出し合い、心の底から楽しんだ。一緒に過ごした二日間は、私達の仲を深めてくれた宝物だ。真っ白なキャンパスに私達の笑顔が加わった。

(7組代表 米山 雅依子)

二年生になって、後輩ができた。部活動も委員会も、先輩として、全力で取り組んだ。そんな中で迎えた、職場体験。初めてのことがばかりの三日間。ミスもたくさんした。でも、この三日間で、仕事の大変さと楽しさを知った。十一月。みんなで行った、鎌倉。初めての班行動。当日の計画も、自分たちで考えた。鎌倉駅までの道は、約六十キロメートル。上手いくのか不安もあった。けれど、当日、全力で楽しめた。想像より大きかった大仏。班で写真を撮った鶴岡八幡宮。時間に遅れそうになって、全力で走った。幕府を思い浮かべながら眺めた景色。全てが光っていた。鎌倉に行く前の期待と不安は、この日、大きな自信へと変わった。

(1組代表 川城 陽斗)

体育祭。速くつくるのが大変だった、いかに流し。でも、一生懸命走った。タイミングを合わせるのが難しくかった、大縄跳び。でも一丸となって跳べた。今まで以上に勝ちにこだわった三年生。これまでの経験を活かしたムカデ競走。掛け声を合わせ、全力で駆け抜けた。応援にも汗を流した。全てに全力だった。合唱コンクール。クラスみんなで歌った「四月の朝」。深い森の中で。全員で歌った「あなたへ」。ホールに歌声を響かせる喜びを知った。三年生、細かいところまでこだわって歌を仕上げた。今までで一番いい歌を歌えたと思う。全力で取り組んだ行事は私達を大きく成長させてくれた。

(5組代表 波平 菜愛)

修学旅行。非日常の数日間は、キャンパスの多くを占めている。暑い中食べた抹茶アイス。おいしかった。雨の中の清水の舞台。あまりの美しさに服が濡れているのを忘れていた。何もかも初めてだけど、友だちといたから不安はなかった。宿で過ごした時間も特別なものだ。カードゲームでたくさん笑った。消灯後の暗闇で語り合った。将来について。この時間は、私たちの間に確かな絆を刻み込んだ。教室では学べない、たくさんを知った。かけがえのない時間だった。しかし、楽しいときは終りを迎える。帰りの新幹線の中、ずっとこの時間が続いてほしいという思いが時間を止めた。今日の日を忘れるなど。

(3組代表 宮崎 健伍)

今日、この日を迎えられたのは、家族の支えがあったからだ。大会や受験の日。作ってくれたお弁当。美味しかった。頑張れた。試合で勝った時。一緒に喜んでくれた。どんな時も味方でいてくれた。心強かった。悩んでいる時。話を聞いてくれたね。話すだけで不安が軽くなった。時には、反抗してしまっただ日もあった。どうしても、素直になれなかった。それでも、いつも笑顔で私達を支えてくれたね。でも実は、仕事で疲れている日があったこと。朝早くから毎日忙しかったこと。分かっていて、本当はずっと感謝しているよ。これからは少しずつ、恩返しをしていきたいと思っています。今まで本当にありがとうございます。これからも、よろしくお願ひします。

(6組代表 菅家 こころ)

どんなことでも分かち合える存在。それは友達。共に過ごした日々はとても大切な思い出だ。困ったとき。嬉しかったとき。悲しいとき。いつも一緒にいてくれた。意見をぶつけ合いながら作った学校行事。ときには話が合わず喧嘩になり傷ついたこともある。それでも君がいたから毎日が楽しかった。3年生になって迎えた受験期。新しい進路に向けて辛いこともあった。だけどみんなといたから乗り越えられた。あなたがいたから一歩を踏み出した。ふざけ合っただけのこと。日常の何気ない会話。そして笑顔。大きな心の支えになっている。色々な感情が交差した3年間。今私達のキャンパスはたくさんさんの表情で彩られている。

(2組代表 森田 匠)

私たちの学年は「輝」だ。私たちはさまざまな個性の光をもっている。その光が集まり、輝きとなった。個性を認め合うことができた。だから、自信をもって過ごすことができた。時には、失敗することもある。けれど、失敗を成長に変え、常に自分たちを磨き上げてきた。いつも明るい私たちがだからこそ、前を向いて乗り越えることができた。この学年で過ごすことができて良かった。そして、私たちが辛いときに、声をかけ、背中を押してくれた先生方がありがとうございます。とても充実した毎日でした。私たちの色を重ね、キャンパスは今、完成した。このキャンパスを胸に、私たちはいつまでも輝き続ける。さあ、別れの日、未来を信じて飛び立とう。大空に。

(4組代表 春山 璃乃)

★同窓会入会式での先輩からのメッセージ★

《お祝いの言葉と三送会のVTRの感想》

三送会から皆さんの様子を拝見しておりました。その中で、一、二年生のクラスから三年生に向けたメッセージビデオには驚きと感動でした。どなたかが言い出したことなのだと思いますが、この企画に賛同し、クラスの皆さんが集まって、一斉に「おめでとう」のメッセージを届けています。果たして、私が中学一年生、二年生の時に、メッセージを届けるだろうか？ また、三年生のときに、このようなビデオメッセージをいただくことができたのだろうか？ と考えると、「？」が頭に浮かびました。部活の先輩や後輩、また個人的に親しくしていた先輩や後輩はたくさんいましたが、クラス皆で、それも全クラスで行うということができたのだろうか？ と考えさせられました。この企画は、クラスがまとまっていなくていいと思います。クラスがまとまり、そして全クラスで作ったメッセージビデオ、これは本当に素晴らしいことだと思います。そして、このようなビデオを作ることができるといことは、それだけ八中での生活をみんなと一緒に作り、盛り上げてきた証なのだと感じました。

この思い出を大切に、そしてこれから、知識と体力とそして人間力をさらに育てていってください。知識と体力と人間力は、ご自分の未来の選択肢を増やしてくれます。可能性を増やしてくれます。

未来の選択肢がたくさんあることを願っております。卒業おめでとうございませう。

《合唱「道」》

皆さんの素晴らしいハーモニーに感動し涙が止まりませんでした。舞台から拝見させていただきましたが、どの生徒も、皆さん口をしっかりと開けて、指揮者をしっかりと見て、一生懸命に歌っていました。『道』の「道」、卒業式の当日は、感動で声が震えたり、涙が声が出なかつたりするかもしれませんが、そこから、きつと今日が一番上手に歌っていたのではないのでしょうか。素晴らしい歌声が聞かれました。トップアーティスト EXILE の「道」、この歌が歌える皆さんをうらやましく思います。「道、君と歩いた今日まで」「ゆっくりと歩きたそう、この道、未来へ続く」私も中学三年生でこの歌詞を歌いたかったと思いました。

府中第八中学校8期生 高橋 善乃

お知らせ

重要

発見 対話 授業のようす 決定 表現

活躍する八中生

【敬称略】

思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこそ、悩みをもつことがあります。悩みを抱えてしまつて困っているときに、相談できる相談窓口はたくさんありますので、「♡♡安心♡♡」してくださいます。リーフレット「不安や悩みがあるときは一人でも悩まず、相談しよう」相談するとうるの？」「保護者向け相談窓口一覧」と「TO KYOほっとメッセージチャンネル」を紹介していますので、活用してください。下の二次元コードから、またはURLをクリックすることでアクセスできます。年度末でタブレットを回収しましたので、生徒の皆さんにはプリントで周知をしています。



一年生の美術（長沼教諭）の授業では、造形的な視点をしっかりと理解し、それぞれが「表現」方法を工夫して、楽しみながら作品を作り上げました。感じ取ったことや考えたことなどを基に、作品に表現する活動をおして、発想力、構想力を確かに身につけました。一年生のフロアーに展示した生徒の皆さんの作品は見事です！



★卓球部★
第三十二回関東中学校選抜卓球大会に男子団体の部
東京都の代表として出場
東京都の代表として出場
※学校外でのスポーツ活動、文化活動等における生徒の活躍について学校より紹介しますので、受賞等があった場合は学級担任にご連絡ください。

★吹奏楽部定期演奏会★
「お客様を楽しませる演奏」をテーマに七曲＋アンコール曲を演奏しました。

★美術部★
「色展」では、色をテーマに部員それぞれが考える「色」について表現しました。発表しました。部員たちは参加された皆さんに丁寧にご案内や説明をしました。



<https://www.fuchu-tokyo.ed.jp/fuchu08c/02gaiyou/15108533456459d8e4a01a420230509142348.html>
<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/message/>



進級する皆さんにワンポイント・アドバイス



★「やばい」(yabai)★
ある日、京王線の調布駅の改札を出たところで、数名の若者たちに声を掛けられました。彼らは、私と会うなり、「やばい！やばい！」と手を叩きながらうれしそうに叫んでいました。
「やばい」の意味を調べると一番目の意味として「危険または不都合な様子。状況・具合が良くないさま」という文言（もんごん）が記（しる）されています。私は、「やばい」と言われ、まずは私の顔に何か付いているのかな？何かおかしいなことを言ってしまったのかな？などと考えてしまいました。でも、彼らの言った「やばい」の意味は違ったのです。久しぶりに中学校で習った先生に会えて、「とてもうれしい」という意味だったので。
★「言語」と思考・言語と「コミュニケーション」★
おいしい食べ物や飲み物を食べても「やばい」、傷（いた）んだ食べ物や食生活も「やばい」、うれしくても「やばい」、いやな気持ちになっても「やばい」、「やばい」という言葉はとても便利！そうではないのです。コミュニケーションによっては誤解を招く言葉だと思った方がよさそうです。少なくとも私は久しぶりに会った教え子たちから、いきなり手を叩きながら「やばい」と言われたときには、あまりいい感じがしませんでした。最近、この言葉に似た使い方をされる言葉に「えぐい」というものがあります。
私たちが思考をするときには必ず「言語」を使って思考をします。言葉の数が多ければほど思考は豊かになると考えられます。そして、言葉の数が多ければほど豊かなコミュニケーション・セッションをすることができると考えられます。
★「感性」と表現★
卒業式の予行での合唱からは生徒の「感性の高まり」を特に感じました。きれいなものを表現するときに「やばい」の一言だけではなく、いろいろな言葉を使って豊かに表現できるようにすることが大切です。皆さんの合唱は多くの人をとっても感動させました。このことから、皆さんの感性は確かに、そして、豊かに育っているといつてよいと思います。